

男の復権、
男の紳士道。

※女性の参加も
大歓迎ですよ!!

紳士学って何ですか？

渡邊かをるさんに聞こう！

Gentleman's way
of life

紳士には、イマジネーション&プリンシプルが必要だ。

アート、デザイン、インテリア、骨董、

料理、本の選び方からバーでのお酒の飲み方まで

様々なものに目を凝らし、

紳士とは何かを学んでいきましょう！

紳士学では、未来のジェントルマンのみならず

人生に大人の知識とセンスを取り入れたい

女性も一緒に学べる講座内容です。

「一杯飲みながら、
気楽にやりましょう」

※LAPHROAIG 10 Years Old
(アイラモルト)を指定しています。



自由大学
紳士学
10/25(日)開講!!
お申し込み・お問い合わせは
www.freedom-univ.com



渡邊さん40歳の頃、イタリアの
「L'UOMO VOGUE」誌にて、
日本を代表するクリエイターとして
掲載された際の記事。

渡邊かをるさんの PROFILE

長年、広告業界でアートディレクターとして活躍している
渡邊かをるさんの作品をほんの一部ですがご紹介させていただきます。



VANで意匠長だった渡邊さんがアメリカへ赴き、
集めた大工道具「カーペンターキット」は、当時歴史的な
価値を持ち、およそ3000キットが揃ったという4万7000
の歴史があった。今回は製作者が立ち会うという
異例の事態となった。



Cassina
ル・コルビュジエポスター

- 1943年 東京築地に生る。
- 1967年 日本大学芸術学部卒業。(株)ヴァンチャケット入社。
宣伝部宣伝室長として、VANブランド、SCENE、NIBLICK等のアートディレクターをつとめる。
- (株)ヴァンチャケット退社。井上剛也、下村紀夫と(株)ヒューズ設立。
- 1979年 BIG JOHNのキャンペーン・ポスターを手がける。
- (株)渡邊かをるインク設立。
- 1981年 TDKキャンペーン始まる。ステイビー・ワンダー、ピーズなどビッグなアーティストを採用し、
話題をさらう。
原宿クレストオープン、ニューヨーク在住の女流カメラマン シーラ・メックナーを
起用したポスターは、斬新かつポップで注目を集めた。
- BIG-YOSHIE INABAブランドのグラフィック面で、アドバイザーとしての役割をこなす。
ブランドの成長とともに、手がけたジャンルも多岐に渡った。
ジャズ・ミュージシャン渡辺貞夫氏と親交を深め、LPジャケット、CDジャケット、写真集と
幅広くアート・ディレクションに携わった。
- キリン ビールの広告制作に参加。現在も、ラガービールなどパッケージデザインを手がける。
- 1991年 ELLE DECO日本版創刊にともない、アート・ディレクション及びビレアウトを手がける。
- 1997年 IDEEカタログ [Life with IDEE Vol.2] のアート・ディレクション及びビレアウトを手がける。
- 1998年 趣味が高じて、南青山にアトリエ・ショップ「デリリー・キャッチ」をオープン。
ロイヤル・コペンハーゲン社「JUROKU」を制作。
[Life with IDEE Vol.3] を制作。
- 2000年 「おとなびあ」の表紙レイアウトを手がける。山本啓子氏の顔写真を生かし好評。
連載を続けたエッセイも、好評のうちに16回を数えた。キリン ラガー ボトル缶を制作。
永年の夢であったバーを、鎌倉にオープン。昭和初期の旧横浜銀行比治方出張所の建物を
そのまま生かし、「バー(ザ・バンク)」と名付けた。
- 2001年 [Life with IDEE Vol.4] を制作。
- 2002年 渡辺貞夫氏、音楽生活50年を記念して出版された [My Dear Life / 50years with music] 及び
CD制作のアート・ディレクションに携わる。
- キリン ラガーボトル缶、缶、クラフトラガー缶のパッケージデザインを制作。
- 2003年 キリン Latte Stout (ラテスタウト) のパッケージデザインを制作。
- 2004年 雑誌Gentryで1年に渡り、趣味で詳しいシガーの記事を連載。
また食通として有名なことから雑誌「実家」の特集ページの取材を受ける。
オリジナル陶器 [KUNN] を発表、話題となる。
- 2005年 麻布やん組合「やんの本」のアート・ディレクション及びビレアウトを手がける。
- スペイン料理店 [Bikini] の店舗「デュース」とデザインを担当。
- 2007年 ウタ・エミ作品集 [EM WADA WORKS] のアート・ディレクション及びビレアウトを手がける。
- 2008年 赤坂のテーブルスタジオ タキティーにて個展「楽書き?落書き?紙付け展」を開催。



ELLE DECO別冊「椅子の本」

KIRIN [LatteStout] は、斬新な缶の
パッケージで話題を集めた。



THE BANK

鎌倉「THE BANK」の建物は昭和初期に実際の銀行として
使われていたものを渡邊かをるさんがバーとしてオープン。
インテリアデザインは片山正通氏が担当。
TEL.0467-60-6170 営業時間 17:00~翌1:00(土・日は15:00~)
月曜・第3、4火曜休

※取材のお申し込み、お仕事の依頼は下記へご連絡ください。
渡邊かをるインク / 東京都港区六本木3-3-6 TEL.03-3582-9229 FAX.03-3582-9230
E-mail, wk@ce,mbr.or.jp





渡邊さんが経営しているバー「THE BANK」(録音:由比が浜)
インテリアデザインは片山正通氏が担当。

渡邊かをるさんによる「紳士学」講座が、自由大学にて始まります！

「紳士学」全5回の中身とは？

1紳士の生き方。

僕のボス、石津謙介氏との11年。

1960年代、若者の思想やライフスタイルまで、大きな影響を与えたファッションブランド「VAN」。その生みの親、石津謙介氏から学ぶ紳士の生き方とは？
坂本龍馬の「字」を見よ！
言わずと知れた坂本龍馬を渡邊さんが独自の視点で紹介。坂本龍馬の現代に通じるセントルマン道とは？

ステイビービー・ワンダーから学ぶ。

紳士とは、まずやさしくなければいけない。
渡邊さんがステイビービーとのアメリカでのロケ中に遭遇したある事件から、感じて学んだこととは？
「雲古」から学ぶ紳士学？
世界を旅した渡邊博士、中村浩、勝手気ままに自分の生き方を貫き通す。その姿勢から学ぶものとは？

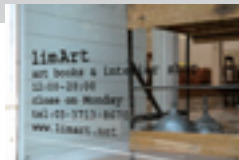
2紳士の古書学。

なぜ紳士は本を読むのか？

神保町のような本屋街は世界中どこを探しても無い。実際に自分で本屋へ行き、自分の目で探すと、それが大切。

「リムアート共同オーナー」書籍バイヤー
中島佑介氏に聞く。

欧米を旅し、現代美術やデザイン、タイポグラフィ、写真、建築などの古書を集める書籍バイヤーの中島さん。心動かされる古書の見つけ方について聞いてみよう。



リムアート
東京都渋谷区恵比寿南2-10-3-1F
TEL.03-3713-8670
12:00~20:00 (Closed on Monday)
www.limart.net



4紳士の料理学、器学。

マニュアルを捨てよ！

料理はマニュアルよりもイメージ・シヨンプンが大切。紳士の料理、考え方のコツとは？

男の料理にはビジョンが必要。

料理は本来、男の仕事だ。

料理から強くなりまで、こだわり続けた

倉山人先生に負けないためには？



5紳士のマナー。

渡邊かをるさんと教室の外で学ぶ、超実践編！

お酒の飲み方から、女性との付き合い方！(まで)一緒に学ぼう！
講義場所は赤坂のBARスワンキーにて行います。

※お好きなドリンク2杯をサービスします。

大人のバーでの振る舞い方。

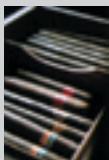
男は約束の時間10分前にはバーに到着していること。

女をバーで一人で待たせてはいけない。

女性との付き合い方も紳士のマナーの一つです。

酒品のイイ人とは？

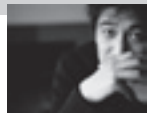
世界の一流のバーのスタイルに裏付け、ヒタリとハマれば、あなたは教養・人格が備わった紳士といえるだろう。



3紳士のインテリア学。

インテリアデザイナー
片山正通氏×渡邊かをる

インテリアデザイナーの片山正通氏をゲストに迎え、片山氏の仕事の仕方、遊び方、楽しみ方など、本音の部分をとんとん聞き出す！
才能のあるからこそ、意外と凡々としているところが、
悟れば、あなたも紳士の一員？



Swanky バー・スワンキー
オーナー・バーテンダー 芥川圭三さんのこだわりの大人のバー・スワンキー。
渡邊さんがプロデュース、インテリアデザインは片山正通氏が担当した。
東京都港区赤坂2-10-12 フォーシーズ瀧池山王ビル9F
TEL.03-5549-7800 営業時間:16:30~翌1:30 日曜・祝日休



自由大学 紳士学講座

全5回 ¥28,000 日曜 15:00~17:00
※最終回11/22(日)は赤坂のBARスワンキーにて17:00-19:00で行います。

詳細・お申し込みは自由大学のホームページをご覧ください。
www.freedom-univ.com

- 10/25(日): 第1回「紳士の生き方。」
- 11/1(日): 第2回「紳士の古書学。」
Guest 中島佑介氏
- 11/8(日): 第3回「紳士のインテリア学。」
Guest 片山正通氏
- 11/15(日): 第4回「紳士の料理学、器学。」
- 11/22(日): 第5回「紳士のマナー。」
BARスワンキーにて実践編

Gentleman's way of life

「紳士にはイマジネーション&プリンシプルが必要だ」